

再 評 価 調 査 書

整理番号	6
担当部局	土木部道路建設課

1 事業概要

(1) 事業名	地方道路整備事業	(2) 名称	一般国道354号 古河境バイパス
(3) 事業主体	茨城県	(4) 箇所名	古河市高野地内～境町猿山地内
(5) 採択年度	平成29年度	(6) 完成予定年度	令和9年度
(7) 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新4号国道及び圏央道へのアクセスに優れ、産業用地開発が進められていることを踏まえ、企業立地の促進や経済活動を支える。 ・新4号国道と東西方向を結ぶ幹線道路ネットワークを強化する。 ・境古河ICへのアクセス性の向上を図る。 		
(8) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業延長 L=3,200m ・計画幅員 W=25.0m (4車線) ・用地買収、道路改良工事、舗装工事、橋梁工事 		

2 再評価の理由

(1) 再評価の理由	再評価	(2) 当初完成予定	令和9年度
(3) 未着工・事業が長期間要している理由	-		
(4) 前回指摘事項に対する対応状況 (再々評価の場合)	委員会の意見	対応状況	
	-	-	

3 事業計画の変更

(1) 完成年度の変更	-
	【理由】 -
(2) 事業内容の変更	【理由】 -
(3) 事業費の変更	-
	【理由】 -

4 進捗状況と今後の見通し

(1) 事業進捗状況	全 体	前年度	前年度まで	進捗率
事業量 (m)	3,200	0	0	0%
事業費	工事費	4,950	195	15.5%
	用地買収補償費	2,050	229	11.3%
	計(百万円)	7,000	424	14.2%
(2) 関連事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・圏央道境古河IC(H27.3.29開通) ・圏央道境4車線化(R7～R8年度予定) ・国道354号境岩井バイパス(L=1.74km、R2.7供用済) 			
(3) 今後の見通し	工 事		用 地 等	
	埋蔵文化財包蔵地及び終点台地部等用地買収が完了した箇所から工事を推進する。		工事着手に向けて、用地取得を進める。	

5 評価内容

(1) 事業の必要性	古河市及び境町は、新4号国道及び圏央道の沿線であり、首都圏とのアクセス性が高く、工場立地が活発な本県の中で、特に立地が多い状況である。また、当該地域への大型物流施設の立地も進んでいるとともに境古河IC周辺において産業用地の開発が進められており、今後も多くの交通需要が見込まれる。企業立地の促進や地域の経済活動を支えるため、新4号国道の6車線化に合わせ、新4号国道と東西方向を結ぶ幹線道路ネットワークの強化、境古河ICへのアクセス性向上を図る道路として整備が必要である。					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	国道354号24時間交通量(坂東市寺久)	10,653台/日(H22センサス)	11,119台/日(H27センサス)			
(2) 事業の有効性	本事業の実施により、下表のとおり通過時間が約2分短縮されるとともに現道の交通量が約9%減少することが予想されることから、本事業は利便性の向上に有効である					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
	古河市高野～境町伏木(約9.5km)の通過時間	16分	14分			
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標2	事業なし	事業あり
	計画道路将来交通量(R22)		12,400台/日	現道将来交通量(R22)	14,900台/日	13,500台/日
(3) 事業の効率性	ア) 主な効果 (B) <ul style="list-style-type: none"> ① 当該路線の整備により、古河市高野～境町伏木までの約9.5km 区間及び周辺道路において、走行時間の短縮(約17,830百万円)、走行経費の減少(約3,390百万円)、交通事故の減少(約600百万円)が図られる。(合計 約21,820百万円) ② 新4号国道や圏央道とのアクセスが向上し、企業立地の促進などによる地域活性化が期待される。 ③ 一般国道354号 古河境バイパスの周辺地域の交通量が減少し、沿道環境が改善される。 イ) 主な費用 (C) <ul style="list-style-type: none"> ① 事業費 5,910百万円 ② 維持管理費 290百万円 計 6,200百万円 <p>主な効果のうち貨幣化が可能なア、イについて事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 B/C=3.5</p>					
(4) 地元の意向	国道354号古河境バイパス整備促進協議会(会長:境町長、関係市町村:古河市)からの早期整備要望がある					
(5) コスト縮減や代替案立案の可能性	土工における土量の過不足について、近傍で実施している他事業と工事間流用を調整することにより、コスト縮減を図る。					

6 対応方針

古河市～境町区間における円滑な交通の確保及び圏央道へのアクセス機能を強化するため、早期の暫定二車線供用を図る。

7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

8 委員会の意見を踏まえた対応

委員会の指摘を踏まえ、現計画に沿って早期完成を目指し、事業を進める。

